

●文献紹介●

●文献紹介●

【ニューメディア】

▽今富良子：図書館情報システム“情報源あさり君”の構築、
情報の科学と技術 48(5)：281-288, 1998
イントラネットによる図書館情報システム構築の一例。利用者に親しみやすいインターフェースとなっている。

▽Lyon BJ: Internet access in the libraries of the National Network of Libraries of Medicine
Bull Med Libr Assoc 86(4):486-490, 1998
NLMは会員のインターネット接続率を100%にすることを目標に、インターネット接続の現状について、未接続の場合はその原因に関しての実態調査を行った。

▽マックがわかるQ&A(インターネットの検索サイトは何がいい?)
日経MAC:(8)226-227. 1998
インターネット上で何かを探す場合に役に立つ、検索サイトを選ぶポイントとなる、基本的な2つのタイプ「ディレクトリ型」と「全文検索型」の違いがわかりやすく説明されている。

【図書館】

▽平成10年度(第84回)全国図書館大会ハイライト
図書館雑誌 93(1)1999
専門図書館、図書館利用教育など14の分科会に別れ秋田県で行われた大会の要旨がまとめられている。

▽第11分科会資料保存資料保存のためのメディア変換—デジタル時代の資料保存戦略—
図書館雑誌 93(1)30, 1999

資料保存方法としてのマイクロフィルム化とデジタル化の事例をとおして、今後のメディア変換について研究討議している。

【読書】

▽内野安彦、図書館における読書アドバイザーの活用について
図書館雑誌 93(1)58-61, 1999
読書アドバイザーについて、自身の受講経験から制度と養成講座のカリキュラムを紹介し、図書館界へアドバイザー活用の必要性を訴えている。

【雑誌】

▽特集「外国雑誌の高騰にかかわる諸問題」
医学図書館：45(4)：406-446. 1998
外国雑誌価格は毎年高騰を続けており、いま医学図書館は危機的状況にある。対応策として、コンソーシアムの形成や電子ジャーナルの共同購入の検討に必要ななどが提言されている。

【文献検索】

▽遠藤有紀子：インターネットのfree medline信頼性調査
薬学図書館 43(1):8-13. 1998
いくつかのfree medlineの検索機能がさまざまな側面から、比較検討されている。

▽日本オンライン情報検索ユーザー会 ライフサイエンス分科会：検証PubMed—サーチャーの眼からみた評価と使い方—
情報の科学と技術 49(1):34-42. 1999
インターネットのfree medlineの中から、特にPubMedを取り上げ、商用メドラインと比較し、解説されている。

【レファレンス】

- ▽末廣恒夫、企業内小規模図書室でのレファレンス
図書館雑誌 93(1)48-49, 1999
日常遭遇するレファレンスの解決事例3例が紹介されている。文献複写情報のデータベース上における検索手段、研究者への直接電話請求にての書籍購入、人物情報の検索不可能だった事例。調査ツールがわかりやすく書かれている。

【病院図書室】

- ▽篠原寿美江：これからの病院図書室1 これからの病院図書室を考える変化する医療

日本病院会雑誌：45(12)：1835-1838. 1998
日常業務に追われ、見失いがちな病院における図書室の位置付けや、病院図書館員としての立場や意識などについて述べられている。常に変化する『医療』という流れにのって、病院図書室はいかに変革すればよいのか、など意識することの大切さを感じさせられる。
- ▽飯田育子：これからの病院図書室2 病院図書室の仕事管理と運営
日本病院会雑誌：45(12)：1839-1846. 1998
病院図書室の業務内容が、管理面、サービス面という二つの側面から、細かくリストアップされている。さらに、フローチャートや年間計画表で流れも理解できる。
- ▽森川治美：これからの病院図書室3 図書室のプランニング
日本病院会雑誌：46(1)：97-105. 1999
病院図書室を設計する際のポイントetc. が、詳しいレイアウトと共に、著者の経験から紹介されている。

【図書館員】

- ▽山崎正和：情報化時代の言葉
専門図書館 171：1-9. 1998
情報・知識・知恵それぞれの性格を解説し、現代が知識の統合性、統一性を失いつつあることに警鐘を鳴らし、知識を伝える媒体として、書物や言葉の世界を豊かにするよう語りかけている。

【統計調査】

- ▽病院図書室研究会第3回統計調査報告書、
ほすびたるらいぶらりあん23(4), 103-116,
1998

*文献の入手は、所蔵館および松阪中央総合病院図書館まで

(「情報の科学と技術」・「Bulletin of Medical Library Association」は協議会で講読しています。)

興味ある文献を分かち合いましょう。参考になる文献がございましたら、会誌編集部までご連絡ください。